

「自分の将来に夢や目標を持ち、自己実現に向けて挑戦し続ける生徒の育成」 好きです!山中

学校便り第14号 平成30年2月9日

寒さ厳しい中に！その1

山鹿中の朝はとにかく早いなあといつも感心します。夏はもちろんのこと、薄暗く氷点下の寒さ厳しい今の時期にも子どもたちの姿があります。受験を控え、教室で勉強に励む生徒。熱心に楽器を奏でる生徒。運動場や体育館、武道場で、運動に集中する生徒。そして、校内外での挨拶運動やボランティア活動に取り組む生徒。きついことに負けない強い心や最後まであきらめない心が確かに育まれているのを実感します。「あと5分、ふとんの中で！ちょっとそこまでも車で！」とつい楽な方を選んでしまう私の心に刺激を与えてくれる子どもたちです。



最近、「マラソンの父」と呼ばれる金栗四三さんの記事をよく目にします。来年の大河ドラマ「韋駄天（いだてん）」の放送が決まり、注目が集まっています。ご存じのように熊本県出身であり、日本人として初めてオリンピックに参加した選手であり、今や正月の風物詩である箱根駅伝の創設者であります。そんな金栗さんは、小学生のころは体が弱かったと言われていたようですが、毎日の登下校で体が丈夫になり、走ることに自信を持つことができたそうです。山中生のなかにも、かなりの距離を自転車や徒歩で自力登校している生徒がいます。日々の積み重ねが、逞しい心身や大きな自信につながることでしょう。氷点下の朝、今日も元気な声が響いています。

寒さ厳しい中に！その2

2月5日（月）の早朝の話です。赤信号のために停車したところ、山中の3年生が登校していました。その生徒の前方から地域の方が歩いてきました。歩道が狭かったため、その生徒は地域の方が通りやすいように道の端に寄りました。その生徒は道を譲り、地域の方に挨拶をしてお辞儀をしました。地域の方もていねいにお辞儀をされ、私の車の方へ。その表情はニコニコされていました。最近では寒くて体や気持ちもちが縮こまりがちですが、私自身も嬉しくなり、その日や一週間の活力となりました。（ある学級便りからの一部抜粋です。）

挨拶をしたり道を譲ったりなど、当たり前のことかも知れませんが、その当たり前のおかげでたくさんの方が幸せになります。

寒さ厳しい中に！その3

本年度もRKK女子駅伝大会（2月12日）で子どもたちに負けない山中女性パーを發揮します。教職員、PTA、さくら会合わせて昨年倍の6チームが参加します。応援よろしくお祈いします。



